アセトン　当該農薬等の成分である物質の分析の妨害物質を含まないものを用いる。
エタノール　当該農薬等の成分である物質の分析の妨害物質を含まないものを用いる。
ギ酸アンモニウム　ギ酸アンモニウム（特級）
クエン酸（無水）　クエン酸（無水）(特級)
スルホン酸塩修飾ジビニルベンゼンーNービニルピロリドン共重合体カラム（500mg）　内径12～13㎜のポリエチレン製のカラム管に、スルホン酸塩修飾ジビニルベンゼンーNービニルピロリドン共重合体500mgを充塡したもの又はこれと同等の分離特性を有するものを用いる。
四級アンモニウム塩修飾ジビニルベンゼンーNービニルピロリドン共重合体カラム（150mg）　内径12～13㎜のポリエチレン製のカラム管に、四級アンモニウム塩修飾ジビニルベンゼンーNービニルピロリドン共重合体150mgを充塡したもの又はこれと同等の分離特性を有するものを用いる。
50mmol／１ギ酸アンモニウム緩衝液（pH3.5）　ギ酸アンモニウム3.15ｇを量り、水990mlを加えて溶かし、ギ酸でpH3.5に調整した後、水を加えて1,000mlとする。

３．標準品

マラカイトグリーンシュウ酸塩　本品はマラカイトグリーンシュウ酸塩98％以上を含む。
ロイコマラカイトグリーン　本品はロイコマラカイトグリーン98％以上を含む。

４．試験溶液の調製

ａ　抽出法

試料を正確に量り、重量比で１／２量の15w／w％ジブチルヒドロキシトルエン・エタノール溶液及び重量比で１／２量の50w／w％クエン酸溶液をそれぞれ加えて磨砕均一化した後、試料10.0ｇ（脂肪の場合には5.00ｇ）に相当する量を量り採る。アセトン100mlを加え、細切均一化した後、ガラス繊維ろ紙を用いて吸引ろ過する。ろ紙上の残留物にアセトン50ml（はちみつの場合には水10ml及びアセトン50ml）を加えて細切均一化し、ガラス繊維ろ紙を用いて吸引ろ過する。得られたろ液を合わせ、アセトンで正確に200mlとする。この溶液から正確に１ml（脂肪の場合には２ml）を量り採り、２vol％ギ酸４mlを加える。

ｂ　精製法

スルホン酸塩修飾ジビニルベンゼンーNービニルピロリドン共重合体ミニカラム（500mg）にアセトニトリル５ml及び２vol％ギ酸５mlを順次注入し、流出液は捨てる。四級アンモニウム塩修飾ジビニルベンゼンーNービニルピロリドン共重合体ミニカラム（150mg）にアセトニトリル及びアンモニア水の混液（９：１）５mlを注入し、流出液は捨てる。スルホン酸塩修飾ジビニルベンゼンーNービニルピロリドン共重合体ミニカラムにａ　抽出法で得られた溶液を注入した後、アセトニトリル５mlを注入し、流出液は捨てる。次いで、このカラムの下部に四級アンモニウム塩修飾ジビニルベンゼンーNービニルピロリドン共重合体ミニカラムを取り付け、アセトニトリル５mlを注入し、流出液は捨てる。

強酸性陽イオン交換体ミニカラム（500mg）　内径８～９㎜のポリエチレン製カラム管に，ベンゼンスルホニルプロピルシリル化シリカゲル500mgを充てんしたもの又はこれと同等の分離特性を有するものを用いる。
クエン酸・リン酸緩衝液（pH3.0）　第１液：クエン酸63.0ｇを量り，水を加えて溶かして1,000mlとする。
第２液：リン酸二ナトリウム215ｇを量り，水を加えて溶かして1,000mlとする。
第１液に第２液を加えて混和し，pHを3.0に調整する。
ジクロロメタン　ジクロロメタン（特級）
水　液体クロマトグラフ用に製造したものを用いる。
無水硫酸ナトリウム　無水硫酸ナトリウム（特級）。当該農薬等の成分である物質の分析の妨害物質を含む場合には，酢酸エチル等で洗浄したものを用いる。

３．標準品

シュウ酸マラカイトグリーン　本品はシュウ酸マラカイトグリーン99％以上を含む。
分解点　本品の分解点は164℃である。
ロイコマラカイトグリーン　本品はロイコマラカイトグリーン99％以上を含む。
融点　本品の融点は103℃である。

４．試験溶液の調製

ａ　抽出法

検体を細切均一化した後，その5.00ｇを量り採り，クエン酸・リン酸緩衝液（pH3.0）10mlを加えて細砕する。これにアセトニトリル15mlを加え，振とう機を用いて５分間激しく振り混ぜた後，毎分3,000回転で５分間遠心分離し，アセトニトリル一水層を採る。残留物にアセトニトリル15mlを加え，上記と同様に振り混ぜ，遠心分離した後，アセトニトリル層を先のアセトニトリル一水層に合わせる。

これにｎ－ヘキサン５mlを加え，振とう機を用いて５分間激しく振り混ぜた後，静置し，アセトニトリル一水層を採る。これにｎ－ヘキサン５mlを加え，上記と同様に振り混ぜた後，静置し，アセトニトリル一水層を採る。

これに20％塩化ナトリウム溶液50ml及びジクロロメタン10mlを加え，振とう機を用いて５分間激しく振り混ぜた後，静置し，アセトニトリルージクロロメタン層を採る。

これに適量の無水硫酸ナトリウムを加え，時々振り混ぜながら15分間放置した後，ろ過する。

ｂ　精製法

強酸性陽イオン交換体ミニカラム（500mg）に，アセトニトリル５mlを注入し，流出液は捨てる。このカラムにａ　抽出法で得られた溶液を注入した後，アセトニトリル５mlを注入し，流出液は捨てる。このカラムにアセトニトリル及びアンモニア水の混液（９：１）10mlを注入し，溶出液をすり合わせ減圧濃縮器中に採り，40℃以下でアセトニトリル及びアンモニア水を除去する。この残留物にアセトニトリル1.0mlを加えて溶かし，これを試験溶液とする。